

安全保障の環境は一変

全国議長会基地協会長に就任1年 福生市議長 清水義朋氏

新たな安全保障戦略で基地は 国は丁寧の説明を

福生市議長の清水義朋氏が全国市議会議長会基地協議会会長になって2月で1年を迎える。就任前と就任後では世界と日本の安全保障の環境は一変した。ヨーロッパと東アジアを中心に地政学リスクは極限的に高まった。政府は12月16日、政府与党政政策懇談会から敵のミサイル発射基地などをたたく「反撃能力」の保有を明記した「国家安全保障戦略」など安全保障関連3文書の報告を受け、これを閣議決定した。防衛費は今後5年間で計43兆円とし、歴史的な増額となった。

(岡村信良)

基地を抱えるまちの議長として、また基地協会長として清水氏はこの1年、ロシアのウクライナ侵攻の行方、台湾海峡の緊張、エスカレートする北朝鮮のミサイル実験などを注視。事態を重く受け止め、変化する状況と向き合ってきた。

「10月4日に北朝鮮の弾道ミサイルが発射された、Jアラートが機能したが、基地協の中でも『いったいどこに避難すればいいのか』という声があった。避難施設がまったく足りておらず、基地協としても今後考えていく必要がある」とも。

「安全保障や外交は国の専権事項だが、基地協では、安全保障の環境が厳しさを増し、不安定さが高まる国際情勢の中、基地協の理事会や役員会で日本の防衛について自然に話が出るようになった。基地協会長として全国の8つの部会の総会に出席する中でも安全保障の環境が厳しさを増していることへの緊張感は今までも違っても感じた」と清水氏。

基地協は、基地をはじめとする防衛施設を擁する自治体の議会が所属し、現在211市町村が加盟。基地が存在することを前提に活動している。基地交付金・調整交付金の充実、防音など周辺環境対策、地元雇用など地域経済対策などを政府予算に反映するよう要望するほか、国会議員との情報交換を行い、基地対策関係施策の充実

防衛の目標と手段を示す「国家防衛戦略」、防衛費の総額や装備品の整備規模を定めた「防衛力整備計画」で、このうち「国家安全保障戦略」と「国家防衛戦略」には、敵のミサイル発射基地などをたたく「反撃能力」を保有することが明記され、安全保障政策の大きな転換となった。

清水氏は「基地協が、基地が存在することを前提に活動している以上、今回の新たな戦略により各基地での装備や部隊がどうなるかを国から各自治体に可能な限り丁寧に説明してもらい必要がある」と指摘している。

これまで自衛隊になかった長距離離射のミサイルを地上、戦闘機、潜水艦から発射できるようにすることで、敵国のミサイル基地などを破壊する

反撃能力は、これまでと比べ格段に高い抑止力になるだろう。また、進展し続ける科学技術により、防衛能力は、宇宙領域、サイバー領域、電磁波領域でも早急な対応が迫られている。

清水氏は「加藤育男市長が言うように基地は無いことが望ましいものの、国の防衛に関する問題でもあり当面動かしがたい施設。市の面積が狭くなる、東西交通の障害になるなどデメリットはあるが、国際交流の場となったり、市内児童、生徒の英語教育推進に活用可能ななどのメリットも多くある。メリットを享受するには平和であることが大前提。外交で平和を構築していく努力を各国が怠ってはならないことは言うまでもない」と話した。

清水氏は昨年10月29日に羽村市の宗禅寺で開催した第71回土曜講座の講師を務め、「議事」と題し講演。横田基地を中心に全国の基地の実情や全国市議会議長会基地協議会などの取り組みを紹介した。講演内容は東京25ジャーナル11月5日号の「如是我聞 宗禅寺土曜講座聴聞記⑥」で紹介している。



市長の責務を果たす清水氏



要望活動で先頭に立つ清水氏

安全保障の環境が激変した2022年だが、23年も引き続き、国内では安全保障の拡充、国外では世界的な地政学リスクの沈静化に最大の努力が払われることになり、先行きは極めて不透明だ。

どこに行っても治らなかった方へ(3密対策を徹底)

秋川駅北口 (エアドック設置) 42年の実績

太田ハリ灸治療院

042(550)5591 完全予約診療(当日予約も可) 土日も診療

初診料 3,000円
治療費 3,500円 (学生2,500円)

この広告で来院した方は初診料無料

坐骨神経痛、ヘルニア(腰、頸椎)、脊椎管狭さく、五十肩、ひざ関節症、肩こり、エルボ(テニス・ゴルフ)、湿疹、スポーツ障害など

坐骨神経痛=お尻から足にかけて痛み、シビレで歩くことが困難な方

あきる野とうきゅう
ココ(5階建ビル)
五日市街道
●西武信金
秋川駅

あきる野市秋川1-1-13ABCビル3階
秋川駅徒歩1分

笹原プロは「私が元気に大会に出場できるのは痛めた腰・肩の治療を受け、体のケアをしているからです」

横田基地に関する東衛相、米軍に横田基地対策に関する要請を行った。要請では基地の整理・縮小・返還を含む

横田基地に関し要望書 都と周辺市町

泡消火剤(有機フッ素化合物)の適正処理も

横田基地に関する東衛相、米軍に横田基地対策に関する要請を行った。要請では基地の整理・縮小・返還を含む

有機フッ素化合物について

多摩地域の有機フッ素化合物汚染を

多摩地域の有機フッ素化合物汚染を明らかにする会」を設立し調査している。